

北本市議会議員

活動報告VOL.13

永井つかさ

27歳

無所属



がん患者への補助が拡充されます！

北本市では、がん患者の皆様に対する支援を拡充することとなりました。その一環として、新たに「AYA世代がん患者終末期在宅療養支援事業」を創設します。この事業は、20歳から39歳までのがん患者の方が、最期の時間を住み慣れた自宅で穏やかに過ごせるように支援するものです。

末期がんの方に対して、20歳未満の方には「小児慢性特定疾病医療給付制度」が適用され、また40歳以上の方は「介護保険の特定疾病」に該当し、介護保険サービスを利用することができます。しかし、その狭間にあるAYA世代(Adolescent and Young Adult)に対しては、公的な補助制度が十分に整備されていませんでした。そこで、北本市独自の支援策として、この世代の方々が適切な医療とケアを受けられるようにするための補助制度を導入します。

この制度の導入にあたり、2024年12月の議会において、私が一般質問を行い、その内容が予算に反映されました。以下は、議会でのやり取りの一部です。

🗣️ 永井：「20から39歳の方、まさに私も該当する世代ではございますが、制度のはざまに落ちてしまっており、支援が受けられません。～中略～ 望む場所で最期を過ごしてほしいと考えております。若年がん患者へのターミナルケア整備事業の創設を望みますが、いかがでしょうか？」

💬 市の部長：「本市におきましても、他自治体の支援の内容を含めた動向等を注視するとともに、支援策を検討してまいります。」

引き続き必要な支援を必要な方へ確実に届け、すべての市民が安心して暮らしている環境を整えるため、政策提言を続けてまいります。

皆様からのご意見やご要望もお待ちしております！



↑ 議会の録画配信はこちら！

アピランス助成事業が始まります！(アピランス=外見)

アピランスケアとは、病気や治療の影響で外見が変化した人々が、外見に関する悩みを軽減し、自分らしい生活を送ることを支援するケアのことです。補助上限額は1万円となります。こちらは市長に対してR7年予算に対する要望書を出した際、要望事項の中にいれていました。

補助対象具:ウィッグや毛付き帽子、着用に必要なネットなど、また補整下着・補整パッドまたは人工乳房

女性へのHPVワクチンのキャッチアップ接種期間が延長されます！

こちらは北本市独自というわけではありませんが、HPVワクチンの接種を逃した方のための接種期間が延長されます！

対象となるのは平成9年度～平成19年度生まれの女性かつ、2025年3月31日までにHPVワクチンを1回以上接種した方です。(私の同級生も対象です)

HPVワクチンは一時期、接種後に生じうる多様な症状等とワクチンの因果関係を十分に説明できないことから、接種を個別にお勧めする取組が差し控えられていた期間がありました。しかし、2021年11月の専門家の会議で下記が確認されました。

・安全性について特段の懸念が認められないことがあらためて確認された

・接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められた

接種されていない方は、この機会にご検討ください。



男性へのHPVワクチン接種補助が始まります！

北本市の独自事業で、私が議会で取り上げた内容でもありました。HPVは一般的に子宮頸がんの原因として知られていますが、実は中咽頭がんや肛門がんなど、男性にも影響を及ぼす可能性があります。

また、男性がHPVワクチンを接種することで、自身の感染リスクを低減できるだけでなく、パートナーへの感染を防ぐことにもつながり、結果として子宮頸がんの発症予防にも貢献します。補助対象は小学6年生から高校1年生相当の男子です。

永井つかさのプロフィール

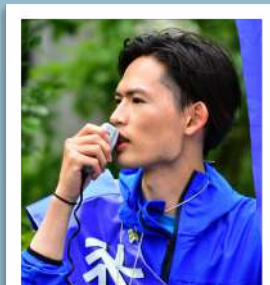
北本みなみ幼稚園卒園、東小学校卒業、東中学校卒業、
さいたま市立大宮北高等学校卒業、日本大学法学部卒業、
東証一部上場（現プライム市場）の建設会社にて
3年間営業職として勤務。

R5.4月の市議会議員選挙にて1478名の方にご信託をいただき、
25歳にて初当選(全国最年少、4位、新人トップ)。宅地建物取引士。
些細なことでもお気軽にご連絡下さい！

発行者:永井司 北本市中丸2-234

090-3842-2413 tsukasa.nagai.kitamoto@gmail.com

2025年3月発行



お問い合わせフォームです↑